

歴史総合から探究へ

山川出版社の「歴史総合」は近現代の日本史・世界史を相互に関連付けながら、バランスよく記述しています。日本史・世界史それぞれの大きな流れや基本的事項を学習できるため、選択科目の日本史探究・世界史探究へとつながり、**通史的な視点からより深い「探究」の学習を進める**ことができます。

日本史探究とは

「歴史総合」の学習によって身に付けた資質・能力を基に、**我が国の歴史の展開に関わる諸事象**について、**地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解**するとともに、事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、**歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を探究**する科目です。



歴史総合 近代から現代へ

歴総707

探究につながる詳しい記述

- 歴史の流れを詳述、信頼できる内容。
- 日本史探究・世界史探究とのつながりを意識。
- 歴史の着眼点となる問いかけを設定。

→p.20



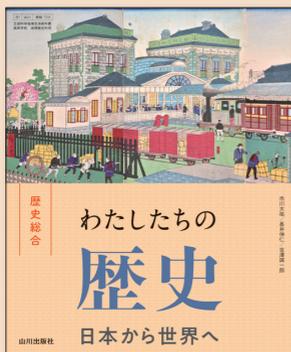
現代の歴史総合 みる・読みとく・考える

歴総708

深める歴史 テーマ・資料・問いで考える

- 社会の特質や構造を捉える44のテーマ学習。
- 深い学び、考える授業の実現。
- グループワークに最適！ 主体的・対話的な学びも。

→p.30



わたしたちの歴史 日本から世界へ

歴総709

見開き47テーマ ビジュアルで楽しく学ぶ

- 厳選された見開き2ページ完結の47テーマ。
- 身近な歴史から世界をみる。
- 教えやすい学びやすいシンプルな構成。

→p.40

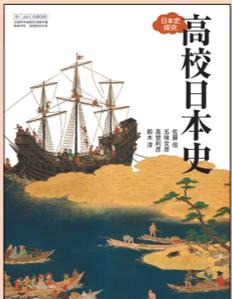
日本史探究



日探705

『詳説日本史』

詳しい内容と豊富な史資料 信頼の教科書 →p.50



日探706

『高校日本史』

豊富な材料で楽しく学べる生徒が読んでわかる教科書 →p.60

世界史探究とは

「歴史総合」の学習で身に付けた資質・能力を基に、**世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象**について、**地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解**するとともに、事象の意味や意義、特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、**歴史的経緯を踏まえて、地球世界の課題を探究**する科目です。

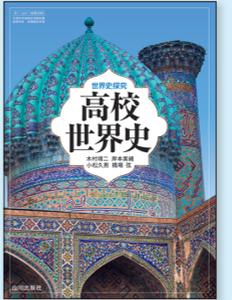
世界史探究



世探704

『詳説世界史』

世界史の枠組みを体系的に学べる信頼の教科書 →p.70



世探705

『高校世界史』

基本をおさえて、資料で深める →p.82



世探706

『新世界史』

考える歴史の時代に向けて新しく生まれ変わった『新世界史』 →p.90

指導用資料のご紹介

教師用指導書「授業実践編」

- 各教科書の授業実践に活用いただける材料や史資料、解説を収録
- 授業準備や授業中に役立つデジタルコンテンツを収録した付属データDVD付き



教師用指導書「研究編」

- 各科目ごとの歴史事象やその背景、史資料の詳細な解説を収録
- ※デジタルコンテンツを収録した付属データDVDは付きません



教師用指導書「授業実践編」・教師用指導書「研究編」・「授業実践編」付属データ・指導者用デジタル教科書(教材)

「授業実践編」付属データ 収録コンテンツ一覧

分類	コンテンツ名	ファイル	歴総707	歴総708	歴総709	日探705	日探706	世探704	世探705	世探706
			『歴史総合』	『現代の歴史総合』	『わたしたちの歴史』	『詳説日本史』	『高校日本史』	『詳説世界史』	『高校世界史』	『新世界史』
準備業	教師用指導書紙面	PDF	○	○	○	○	○	○	○	○
	教科書掲載問い・解答例一覧	Excel	○	○	○	○	○	○	○	○
授業用教材	教科書紙面	PDF	○	○	○	○	○	○	○	○
	授業用スライド	PowerPoint	○	○	○	○	○	○	○	○
	スライド対応ワークシート	Word		○	○	○	○	○	○	○
	授業用アニメーション動画	MP4			○					
教材作成	教科書本文テキスト	Word	○	○	○	○	○	○	○	○
	教科書掲載史料テキスト	Word				○	○	○	○	○
	教科書掲載地図・図表 カラー	JPEG	○	○	○	○	○	○	○	○
	教科書掲載地図・図表 モノクロ	JPEG	○	○	○	○	○	○	○	○
	準拠ノート紙面	PDF	○	○	○	○	○	○	○	○
	準拠ノート本文テキスト	Word				○	○	○	○	○
	白地図集	JPEG		○		○	○	○	○	○
評価・テスト	準拠テスト例	Word	○	○	○	○	○	○	○	○
	年間指導計画・評価規準例	Excel	○	○	○	○	○	○	○	○

指導用資料 定価一覧

教科書番号	商品名	税込価格
歴総707	『歴史総合』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
	『歴史総合』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	『現代の歴史総合』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
	『現代の歴史総合』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	『わたしたちの歴史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
歴総708	『わたしたちの歴史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	歴史総合 教師用指導書(研究編)	¥5,500
	歴総707『歴史総合』指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000
歴総708『現代の歴史総合』指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000	
歴総709『わたしたちの歴史』指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000	

教科書番号	商品名	税込価格
日探705	『詳説日本史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
	『詳説日本史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	『高校日本史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
	『高校日本史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	日本史探究 教師用指導書(研究編)	¥5,500
日探705『詳説日本史』教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット+指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000	
日探706『高校日本史』教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット+指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000	

教科書番号	商品名	税込価格
世探704	『詳説世界史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
	『詳説世界史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	『高校世界史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
世探705	『高校世界史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	『新世界史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)	¥22,000
	『新世界史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
世探706	『新世界史』 教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット	¥27,500
	世界史探究 教師用指導書(研究編)	¥5,500
	世探704『詳説世界史』教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット+指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000
世探705『高校世界史』教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット+指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000	
世探706『新世界史』教師用指導書(授業実践編)(付属データDVD付)+(研究編)セット+指導者用デジタル教科書(教材)インストール版またはクラウド版	¥55,000	

指導者用デジタル教科書(教材)

インストール版 【同一の学校建物内の指導者用端末に限りインストール数の制限なし】

- (インストール方法①) 各利用端末に直接インストールしてご利用ください。
※端末インストール(スタンドアロン)はWindows PCのみの対応となります。
- (インストール方法②) DVD-ROMに収録されているデジタル教科書のデータを学校・教育委員会等に設置されているWebサーバーにアップロードのうえ、各利用端末からアクセスしてご利用ください。
※ファイルサーバーは動作保障環境の対象外です。

クラウド版 【校内フリーライセンス】

- 弊社からライセンス証・学校管理者向けスタートガイドをお送りします。スタートガイドに沿って初期設定作業をしていただくことで、作業完了後、ライセンス証記載の利用開始日よりご利用いただけます。
- オンライン環境にて、各利用端末から弊社指定のクラウドサーバーへアクセスしてご利用ください。

「授業実践編」付属データを活用した

効率的な授業展開例

『わたしたちの歴史 歴経709』 授業展開例



1 導入 授業用アニメーション動画で学習のポイントを提示



2~3分のアニメーション
授業冒頭の導入に最適

2 展開 授業用スライドや教科書紙面PDFを活用して板書を省き、スムーズに進行



拡大表示にも対応した
解像度

3 まとめ 準拠ノート紙面PDFでプリント教材の準備を削減



テーマの問いにも
スムーズに取り組める
わかりやすい構成

『高校世界史 世探705』 授業展開例

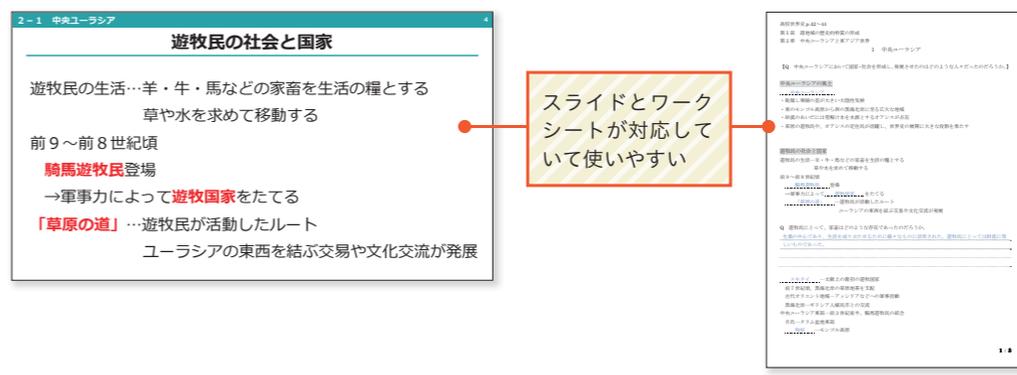


1 導入 教科書紙面PDFで写真や資料を大きく投影し、考察を促すきっかけに



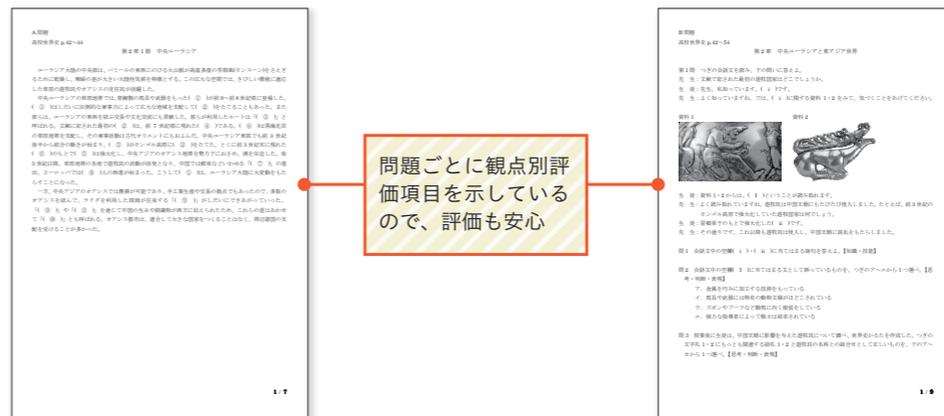
写真も含めた教科書紙面を
そのまま収録

2 展開 授業用スライドと生徒用ワークシートで板書を省き、少ない時間数でもスムーズに授業を展開



スライドとワーク
シートが対応して
いて使いやすい

3 まとめ 観点別評価に対応した「準拠テスト例」で知識の定着を確認、資料を活用した読み解き問題も



問題ごとに観点別評
価項目を示している
ので、評価も安心

\「授業実践編」付属データの /

ご利用方法は **2** 通り をご用意しています。

データを利用する端末にDVDドライブが

付いている

DVDドライブ付き
ノートPC

付いていない

DVDドライブ非搭載ノートPC、
タブレットPCなど

1 『DVDディスク』から
データをインポート

DVDディスクをドライブにセットし、
データをPCにインポートしてご利用く
ださい

2 Webサイトから
データをダウンロード

『山川&二宮ICTライブラリ』からデータ
をダウンロードしてご利用ください

利用開始！

\ **3** ステップで完了！ /

Webサイトからのダウンロード手順



ダウンロード手順

- STEP 1** 山川&二宮 ICTライブラリ (<https://ywl.jp>) へアクセスしてください
※または、検索ブラウザから「ICTライブラリ」で検索してサイトへアクセスしてください
 - STEP 2** トップバナーの[会員登録/ログイン]から会員登録(無料)してください
※すでに会員登録がお済みの先生は、登録済みIDでログインしてください
 - STEP 3** ログイン後、右上の アイコンから [ライセンス管理] ページへ進み [ライセンス追加] をクリックし、画面の案内に従ってライセンスコードを入力してください
認証に必要なライセンスコードは、付属DVDの盤面に記載された9桁の数字です
※コードは半角数字でご入力ください
- ◎ ライセンス認証が完了したら、トップページ右上のマイライブラリ>マイコンテンツからデータをダウンロードしてご利用ください

山川&二宮ICTライブラリ

詳しい情報はこちらから



「授業実践編」付属データのご紹介

授業準備～授業～テスト・評価をスムーズにつなげる デジタルコンテンツ

1 教科書本文・史料テキスト



- 歴総 707
 - 歴総 708
 - 歴総 709
 - 日探 705
 - 日探 706
 - 世探 704
 - 世探 705
 - 世探 706
- 授業準備 → 授業 → テスト・評価

※史料テキストは「歴総707」「歴総708」「歴総709」には付きません

Point 授業プリントや定期考査の作成に！

第5章 院政と武士の躍進

大陸で宋、朝鮮半島に高麗が建てられた頃、日本では地方で武士が成長し、荘園が各地に生まれ、中央で摂関政治が停滞して院政が始まった。院政はどのように成立したのだろうか。またその後、武士が台頭してくるきっかけは何だろうか。

1 院政の始まり

●日本列島の大きな変化

11世紀の後半、朝廷では政治の転換期を迎えた。天皇や摂関家・大寺社は、諸国からの税金が不安定になる中、荘園の拡大をはかった。しかし、荘園の増加により、支配する公領(国衙領)を圧迫された国司は、荘園の不入の権利を取り消すなどの荘園整理をおこなったため、対立が深まった。

地方では豪族や開発領主として力をのびてきた武士の成長が著しく、貴族や大寺社と結びついて私領の拡大をはかった。なかでも東日本の反乱を機に、源氏の武士が奥州に勢力を広げた。九州では、大陸との交通が盛んになり、日宋貿易の窓口である博多の周辺には、大寺社や上級貴族が進出していった。

●延久の荘園整理令と荘園公領制

関白の藤原頼通に皇位継承を抑えられてきた後三條天皇は、即位すると、ときの摂政・関白を外戚としないこともあって、新たな政治を進めた。天皇は摂関政治の弊害をみて成長してきたため、大江匡房らの学識にすぐれた人材を登用し、荘園の増加により公領が圧迫されているとして、1069(延久元年)に延久の荘園整理令を出した。

天皇は整理の審査を地方の所有者から提出された荘園や書類不備の荘園ではなく、この整理令は、荘園整理によって、貴族社に認められた荘園の整備支配下にある豪族や開発領主また、国司は田所・税所

日探 705_p.76-85_2部-5

本文の太字はゴシック体で表示

章や節単位でファイル分割しているが必要なテキストを探しやすい

文字史料もテキストデータで収録

日探 705_p.76-85_2部-5 院政と武士の躍進.docx 3 / 9

「詳説日本史(日探705)」/教科書本文・史料テキスト

2 準拠ノート紙面・本文テキスト



- 歴総 707
 - 歴総 708
 - 歴総 709
 - 日探 705
 - 日探 706
 - 世探 704
 - 世探 705
 - 世探 706
- 授業準備 → 授業 → テスト・評価

※本文テキストは「歴総707」「歴総708」「歴総709」には付きません

Point 自学自習や授業用にプリントアウトして配布

2 中央ユーラシアと東アジア世界

1 中央ユーラシア—草原とオアシスの世界 p.37~40

1 中央ユーラシアの風土

- ① 中央ユーラシア(内陸アジア)……乾燥地帯・大陸性気候(寒暖差大)
- ② 北平: 広大な草原(内陸北平—モンゴル高原)……遊牧民の活動
- ③ 南平: 砂漠地帯(オアシスの点)……オアシス定住民の活動

2 遊牧民の社会と国家

- ① 遊牧民……遊牧・狩猟(草原地帯を季節的に移動)
- ② 家畜(羊・ヤギ・馬・牛・ラクダなど)の飼育……食料: 乳製品・肉類、衣服: 毛皮中心
- ③ 住居——ゲル(パオ、フェルト製の移動式天幕)
- ④ ⑤の登場(前9—前8世紀)……世界史に大きな影響
- ⑥ 騎馬技術(首飾製の馬具・武器使用) → 機動性にすぐれた軍勢力 → 定住農耕地帯への侵入
- ⑦ 遊牧国家の形成……部族集団の連合により成立——統率力をもつ強力な君主の出現
- ⑧ 東西交易や文化交流に貢献……「**⑧**」の道」を利用

3 スキタイと匈奴

- ① 遊牧国家の出現
- ② ③ (前7世紀頃)……最初の遊牧国家——黒海北岸の草原地帯を支配
- ④ 中央ユーラシア東部の遊牧国家(前3世紀以降) → スキタイの影響
- ⑤ 月氏(タリム盆地東部)……(モンゴル高原)
- ⑥ 匈奴の台頭……漢朝の武帝の時代に遊牧国家形成
- ⑦ ⑧ 月氏を甘粛から駆逐(→大月氏) → 中央アジアのオアシス地帯支配
- ⑨ 匈奴の高祖を破る → 武帝の反撃(匈奴を北方に撃退)
- ⑩ 匈奴の東西分裂(前1世紀) → 南部分裂(後1世紀) → 北匈奴、西方へ移動
- ⑪ ユーラシア東西の大変動(後3世紀以降)
- ⑫ 東部……()などの(五胡)、華北に進出 → 政權樹立(五胡十六国)
- ⑬ 西部……()人の西進・圧迫 → ゲルマン人の大移動

4 オアシス民の社会と経済

- ① オアシス都市の発達
- ② 乾燥した砂漠・草原地帯 → オアシスの利用(カオス(カオス)) → 定住生活
- ③ 独立した生活・経済圏……都市部と周辺農村(集約的な農業)からなる
- ④ 手工業生産・商業交易の拠点として繁栄……「**⑧**」の道」
- ⑤ 東部……()盆地(吐魯番)……ブハラ・サマルカンド
- ⑥ 西部……()……ブハラ・サマルカンド
- ⑦ 遊牧国家とオアシス都市……裁制的(略奪・支配) → 互恵的(交易・陸路の安全保障)
- ⑧ 遊牧国家(匈奴など)と遊牧帝国(漢など)の抗争……オアシス都市(東西交易の利)支配をめぐる

18 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界

2 東・西の出現 p.40~44

- ① 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ② 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ③ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ④ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ⑤ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ⑥ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ⑦ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ⑧ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ⑨ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ⑩ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ⑪ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ⑫ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ⑬ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ⑭ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ⑮ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ⑯ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ⑰ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ⑱ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ⑲ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ⑳ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ㉑ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ㉒ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ㉓ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ㉔ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ㉕ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ㉖ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ㉗ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ㉘ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ㉙ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ㉚ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ㉛ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ㉜ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ㉝ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ㉞ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ㉟ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ㊱ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ㊲ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ㊳ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ㊴ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ㊵ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ㊶ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ㊷ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ㊸ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ㊹ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ㊺ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ㊻ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ㊼ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ㊽ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展
- ㊾ 東の出現(一「**⑧**」の道) 東方諸国: 合衆(蘇美)と連綿(張)で東に発展
- ㊿ 西の出現(一「**⑧**」の道) 西方諸国: 地中海の地帯に発展

「詳説世界史(世探704)」/準拠ノート紙面

Point 本文テキストはプリント教材や小テストの作成にも活用できる

解答は青字で表示

「詳説世界史(世探704)」/準拠ノート本文テキスト

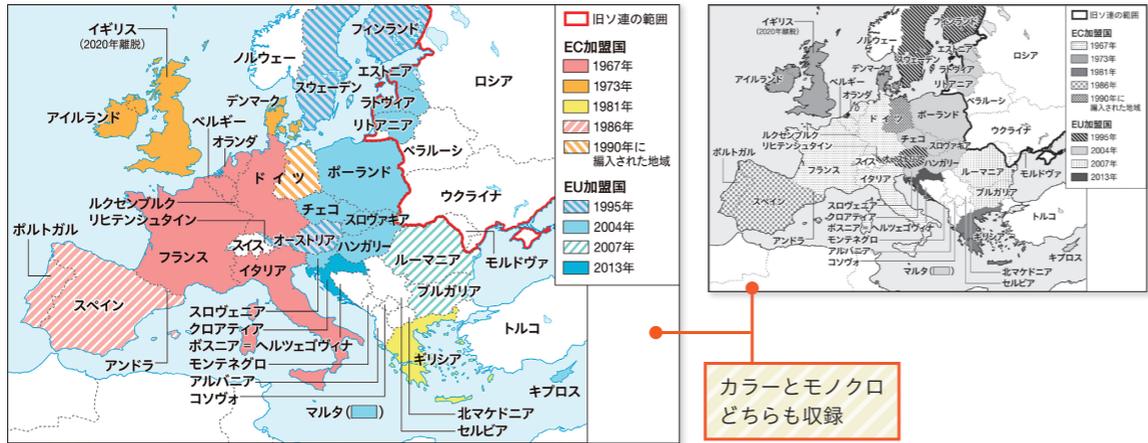
3 教科書掲載地図・図表・白地図集



歴総 707 歴総 708 歴総 709 日探 705 日探 706 世探 704 世探 705 世探 706
授業準備 → 授業 → テスト・評価

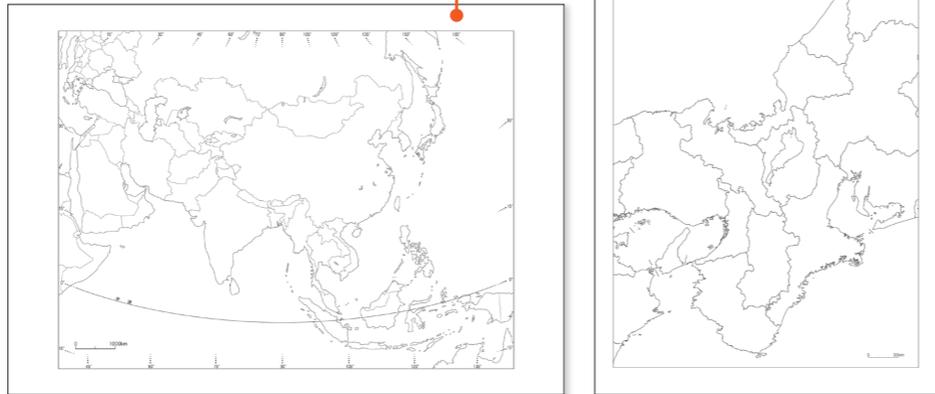
※白地図集は「歴総707」「歴総709」には付きません

Point プリント教材や授業用スライド、テストの作成に！



カラーとモノクロどちらも収録

プリント作成に便利な白地図も収録



4 教師用指導書紙面



歴総 707 歴総 708 歴総 709 日探 705 日探 706 世探 704 世探 705 世探 706
授業準備 → 授業 → テスト・評価

Point タブレットやモバイルPCに入れていつでもどこでも参照できる

日本文化のあけぼの
 1 日本文化の始まり
 2 日本文化の発展

生徒からの質問にもすぐに答えられる

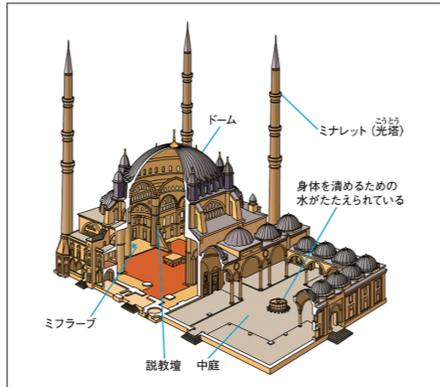
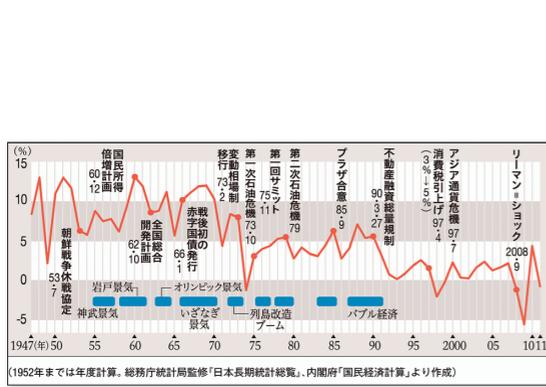
「高校日本史(日探706)」/教師用指導書紙面

5 教科書掲載問い・解答例一覧



歴総 707 歴総 708 歴総 709 日探 705 日探 706 世探 704 世探 705 世探 706
授業準備 → 授業 → テスト・評価

Point 教科書に掲載している「問い」と「解答」を一覧表で収録



章や節など単元ごとにソートしてスムーズに確認

問い	解答例
18 自然環境の変化をきっかけに、人々の生活や社会はどのように変化したのだろうか。	人類は農などの動物の栽培を中心とする農耕・牧畜を開始し、社会や経済、政治の発展を経験し、定住による生活様式へと移行した。
19 農耕・牧畜は、自然環境のどのような変化から生まれたのだろうか。	約1万年前に氷期が終わり、地球が温暖化したという変化から生まれた。
20 文明が生まれるためには、どのような条件が必要だったのだろうか。	多くの人口を養うための灌漑農業による食料の大生産と、余剰の人間を統一して支配する国家という前提が必要であった。
21 古代オリエント文明は、世界の歴史にどのような影響を与えたのだろうか。	メソポタミア文明が誕生したことで、文字や貨幣、法律などの発明がなされ、人類の生活や社会に大きな影響を与えた。
22 オリエントの歴史は、その文明の特質とどのような関係にあるのだろうか。	都市国家が中心でもあり、王や神官、商人、農夫などが階級を形成し、専制政治を築いた。
23 都市国家に富や権力が集まったのはなぜだろうか。	メソポタミア文明が今日に残した文化的遺産は、何があるのだろうか。
24 メソポタミア文明が今日に残した文化的遺産は、何があるのだろうか。	1850年代以降に発見された楔形文字の解読により、メソポタミア文明の歴史が明らかになり、人類の歴史に大きな影響を与えた。
25 楔形文字の発明がもたらした文化的遺産は、何があるのだろうか。	メソポタミア文明が今日に残した文化的遺産は、何があるのだろうか。
26 エジプト文明が今日に残した文化的遺産は、何があるのだろうか。	エジプト文明が今日に残した文化的遺産は、何があるのだろうか。

「詳説世界史(世探704)」/教科書掲載問い・解答例一覧

6 教科書紙面



- 歴総 707
- 歴総 708
- 歴総 709
- 日探 705
- 日探 706
- 世探 704
- 世探 705
- 世探 706

授業準備 → 授業 → テスト・評価

Point 写真も含めて教科書紙面をそのまま収録!

写真や史料を大きく投影して
考察を促すきっかけに

5 日本開国期の国際情勢

日本が開国した頃、世界各地で戦争や反乱がおきていた。このことは、日本にどのような影響を与えたのだろうか?

「西洋の権威」とアジア諸地域

18世紀半ばにイギリスで始まった産業革命は、19世紀末までには西ヨーロッパ諸国やアメリカ合衆国にもおよんだ。科学技術が発達し、軍力も高まった諸国は、武力を背景にアジア諸地域へ進出していた。アジア諸地域は、欧米諸国の武力進出(「西洋の権威」(エスタブリッシュメント))に対して、欧米諸国をモデルに政治や軍事制度を改めようとした。

一方、列強の支配に対し、一般民衆も幅広い層の人々による抵抗運動がおこることもあった。たとえば、イギリスが進出したムガル帝国(インド)では、1857年にインド大反乱がおこった。

「太平天国」と第2次アヘン戦争

清ではアヘン戦争後、戦費や賠償金の負担が民衆の生活を苦しめ、社会不安が大きくなっていった。こうしたなか、キリスト教の独自の理解をもとにして、1851年に建てられた太平天国は、清に対して蜂起し大勢力となり、53年に南京を占領した。

一方、イギリスは南京条約後も中国貿易の利益が思ったほど上がらなかったため、1856年にフランスとともに**第2次アヘン戦争**をおこした。両国は60年に北京を占領して、清とのあいだに北京条約を結んだ。この条約で、清は外国公使の北京駐在、天津など11箇の開港、キリスト教布教の自由などを認めた。この間、太平天国は内部の権力争いから衰えはじめた。第2次アヘン戦争が終結すると、イギリスなどの列強は清を支持する方が自国に有利な状況をもたらすと考えるようになり、外国人を指導者として組織された常備軍が清に協力し、太平天国を導き、富強強兵をめざすようになった(洋務運動)。

アメリカは、第2次アヘン戦争を理由として、日本に対し早く締結通商条約を締結するよう求めた。

クリミア戦争と南北戦争

18世紀以来、ロシアは冬でも凍らない港を求めて南下政策を進めており、1853年、オスマン帝国に侵襲した。イギリスは、ロシアの南下政策でインド支配がおびやかされることを警戒し、フランスとともにオスマン帝国を支援して、ロシアの南下を阻止した(クリミア戦争)。

クリミア戦争では極東地域でも戦闘がおこり、日本に開国を求めるロシア使節の行動はおさえられた。

アメリカでは、独立後も領土のあり方や経済政策、奴隷制度の拡大などをめぐって北部の州と南部の州の対立が続いていた。1860年に奴隷制度の存続をめざす南部の州はアメリカ合衆国から離脱し、61年、アメリカ連合国を結成した。リンカーンはアメリカの分裂を認めず、同年、南北戦争が勃発した。アメリカ史上もっとも戦死者が多かったとされる南北戦争は北部の勝利で終わり、戦後は国内の統一と整備が最優先課題となったため、アメリカのアジア進出は、一時消滅した。

① ナイチンゲール(1820~1910) クリミア戦争でイギリス軍に従軍し、負傷した兵士の看護にあたった。戦後には、イギリスで看護婦の組織活動をつくった。

「わたしたちの歴史(歴総709)」/教科書紙面

拡大表示も可能な
解像度でご提供

章やテーマ単位で
ファイル分割して
いるのでスムーズ
に表示できる

01_東洋〜目次〜書籍資料.pdf
02_歴史の扉〜歴史の扉〜.pdf
03_第1部 近代化と私たち 近代化への問い.pdf
04_第1部 19世紀の世界とアジア.pdf
05_第1部 2 産業革命.pdf
06_第1部 3 アヘン戦争.pdf
07_第1部 4 日本の開国.pdf
08_第1部 5 日本開国期の国際情勢.pdf
09_第1部 6 開国後の日本社会.pdf
10_第1部 7 市民革命と開港開港.pdf
11_第1部 8 明治維新.pdf
12_第1部 9 富強強兵と文明開化.pdf
13_第1部 10 日本の明治初期の外交.pdf
14_第1部 11 大日本帝国憲法の制定.pdf
15_第1部 12 日本の産業革命と日清戦争.pdf
16_第1部 13 産業革命と日露戦争.pdf
17_第1部 14 日露戦争と韓露併合.pdf
18_いばの私生活に学ぶ 経典 自由・制限 対立・協調.pdf
19_第1部 20 開港開港後の変化や大衆化と私たち 開港開港後の変化や大衆化への問い.pdf
20_第1部 1 大衆運動の芽ばい.pdf
21_第1部 2 第一次世界大戦.pdf
22_第1部 3 第二次世界大戦と日本.pdf
23_第1部 4 ロシア革命とその影響.pdf
24_第1部 5 社会運動の広がり.pdf
25_第1部 6 富強強兵.pdf
26_第1部 7 アジアの民族運動.pdf
27_第1部 8 大衆消費社会 大衆消費社会.pdf
28_第1部 9 世界恐慌.pdf
29_第1部 10 総戦力の台頭.pdf
30_第1部 11 日本のアジア進出.pdf
31_第1部 12 第二次世界大戦.pdf
32_第1部 13 第二次世界大戦と日本.pdf
33_第1部 14 第二次世界大戦の終結.pdf
34_第1部 15 戦後復興秩序.pdf
35_第1部 16 冷戦の始まり.pdf
36_第1部 17 日本の戦後改革と日本国憲法.pdf
37_第1部 18 日本の独立.pdf
38_いばの私生活に学ぶ 経典 統合・分化 平等・格差.pdf
39_第1部 19 「文化と私たち」 「グローバル化への問い」.pdf
40_第1部 1 第三世界の登場.pdf
41_第1部 2 冷戦の固定化と「雷打」.pdf
42_第1部 3 冷戦の展開.pdf
43_第1部 4 55年体制と安保闘争.pdf
44_第1部 5 高度経済成長の光と影.pdf
45_第1部 6 バレーボールとアフリカ.pdf
46_第1部 7 経済構造の変化.pdf
47_第1部 8 日本の経済大躍進.pdf
48_第1部 9 アジアの経済成長.pdf
49_第1部 10 社会主義の停滞と新自由主義.pdf
50_第1部 11 冷戦の終結.pdf
51_第1部 12 冷戦後の地域紛争.pdf
52_第1部 13 地域紛争.pdf
53_第1部 14 現代世界の諸課題.pdf
54_第1部 15 日本の諸課題.pdf
55_用語解説.pdf
56_参考文献〜索引〜後見書.pdf

7 授業用アニメーション動画



- 歴総 709

授業準備 → 授業 → テスト・評価

Point 2~3分のアニメーション動画で、学習内容のポイントを簡潔に提示

市民革命と国民統合 (p.42~p.43)

「サンプル動画」
こちらから

授業冒頭の「導入」に最適

「問い」を軸にした
授業展開に

市民革命と国民統合

このことは、世界にどのような影響を与えたのでしょうか?

市民革命と国民統合

② アメリカの独立

イギリス

フランス

植民地の拡大をめぐる
争いを繰り返していたんだ

図式化した解説と
アニメーションで
理解しやすい

「わたしたちの歴史(歴総709)」/授業用アニメーション動画

8 授業用スライド



歴総 707
歴総 708
歴総 709
日探 705
日探 706
世探 704
世探 705
世探 706
授業準備
→
授業
→
テスト・評価

Point 各単元に即した内容ですぐに授業をはじめられる

対応するワークシートも収録、スムーズに授業が展開できる

II-5-1 院政の始まり 後三条天皇の荘園整理

5 荘園公領制への移行

貴族や寺社の支配する荘園と、国司の支配する公領とが明確になり、1国の編成は荘園と公領で構成される体制(荘園公領制)に変化した。

【律令制】 国一郡一里(のち郷)

↓

【荘園公領制】 国一荘

郡(長: 郡司)

郷(長: 郷司)

保(長: 保司)

}

公領

荘園公領制のしくみ

「高校日本史(日探706)」/授業用スライド

PowerPointファイルなので加工も自由、オリジナルスライドのベースとしても使える

宗教改革と科学革命

1 宗教改革

カトリック教会への抗議の動きとして**プロテスタント**諸派が登場した一方で、**カトリック**の側でも改革の動きがおり、近世の西ヨーロッパでは全般的に宗教意識が高まった。

新教の広がり(1560年頃)

「歴史総合(歴総707)」/授業用スライド

9 スライド対応ワークシート



歴総 708
歴総 709
日探 705
日探 706
世探 704
世探 705
世探 706
授業準備
→
授業
→
テスト・評価

※スライド対応ワークシートは「歴総707」には付きません

Point 授業用スライドに対応した生徒用ワークシート

プリント教材準備の負担を軽減

ワークシート
高校日本史 p.60~66

第5章 院政と武士の進出

本日の学習課題
中国で宋が、朝鮮半島で高麗がおり、日本では地方で武士が成長し、荘園が各地にうまれた。こうしたなかで摂関政治が衰退して院政が成立し、武士が台頭するが、それはなぜだろうか。

- 院政の始まり
 - ◆日本列島の大きな変化
 - 1 政治の転換
 - 11世紀後半、天皇家や摂関家・大寺社は税収が減少して財政が不安定になるなか、荘園の拡大をはかった。地方では豪族・開発領主が力をのばした。
 - 2 武士の成長と大陸との交通
 - 武士は貴族や大寺社と結びついて私領の拡大をはかり、源氏が奥州に勢力を広げた。九州では、日宋貿易の窓口である博多の周辺に、大寺社や上級貴族が進出した。
- ◆後三条天皇の荘園整理
- 3 後三条天皇の政治
 - 関白藤原頼通の娘には男子が生まれなかったため、藤原氏の娘を母としない後三条天皇が即位し、天皇は摂関家に遠慮することなく、国政の改革に取り組んだ。
- 4 延久の荘園整理令
 - 1069年、天皇は荘園が公領を圧迫するとして(**荘園整理令**)を出し、(**記録荘園券契所**)(記録所)を設けて証拠書類のそろわない荘園などの停止を命じた。
- 5 荘園公領制への移行
 - 貴族や寺社の支配する荘園と、国司の支配する公領とが明確になり、1国の編成は荘園と公領で構成される体制(**荘園公領制**)に変化した。

【律令制】 国一郡一里(のち郷) 荘園

【荘園公領制】 国一荘

郡(長: 郡司)

郷(長: 郷司)

保(長: 保司)

}

公領
- ◆院政の成立と展開
- 6 前九年合戦
 - 陸奥北部の豪族安倍氏と国司が対立すると、陸奥守の源頼義が子の義家と東国の武士をひきいて安倍氏と戦い、出羽の清原氏のたすけを得て安倍氏をほろぼした(**前九年合戦**)。

1 / 5

「高校日本史(日探706)」/スライド対応ワークシート

10 準拠テスト例



歴総 707 歴総 708 歴総 709 日探 705 日探 706 世探 704 世探 705 世探 706
授業準備 → 授業 → テスト・評価

Point 観点別評価に対応！知識確認から思考力・判断力・表現力の養成まで

A問題
高校日本史 p.178~190

第12章 近代国家の成立

問 つぎの文章を読んで、空欄に適切な語句を答えよ。【知識・技能】

1 明治維新
中央集権体制をつくるために1869年、新政府は諸藩の藩主に(㉠)を命令した。さらに新政府は体制を一新するため藩制度を全廃する方針を定め、1871年、薩摩・長州・土佐の3藩の兵を御親兵として、(㉡)を断行した。また、中央政府の制度もとのえられ、要職はほとんど薩摩・長州・土佐・肥前の4藩出身の実力者が占められた。ここに(㉢)とよばれる政権の基礎がほぼ固まった。政府は近代的軍隊を創設するため、1873年、山県有朋の主導で国民皆兵をめざす(㉣)を出した。社会制度では新政府はいわゆる四民平等を実現し、1872年には全国統一的な戸籍である(㉤)がつけられた。社会制度の改革で、もっとも打撃を受けたのは士族たちであった。廃刀令が出され、1876年には数百年の家禄にあたる金禄公債証券をあたえて、家禄をすべて廃止した(㉥)が断行された。この結果、わずかな額の公債しか支給されなかった下級士族の生活は苦しくなり、軍人や警官などに転身できなかった者のなかには、(㉦)とよばれる不慣れた商売に手を出して失敗する者も多かった。

政府の財政は苦しく、1873年から土地と税制に関して(㉧)に着手し、財政安定をめざした。また、富国強兵・殖産興業をスローガンとして、産業の育成にも積極的に取り組んだ。まず、工部省・内務省を設けて事業を推進するとともに、多くのいわゆる(㉨)をまねいて高額の給金を支払い、技術指導にあたらせた。通信・交通制度では、前島密の建議により、飛脚にかわる官営の(㉩)をつくり、1872年には東京(新橋)・横浜間に官営の(㉪)を開通させ、また電報をととのえた。貨幣制度では、(㉫)を定め、十進法による円・銭・厘を単位とする新硬貨をつくらせ、輸出産業の中心である生糸の生産拡大に力を入れ、群馬県に官営の(㉬)を設けて、フランスの先進技術の導入と工女の養成をおこなった。政府は農業・牧畜の改良もすすめて、とくに北海道の開拓に力を入れた。1869年、蝦夷地を北海道と改称して(㉭)をおき、アメリカの大農場制度や畜産技術の導入をはかった。札幌農学校を開設するとともに、1874年には士族授産の政策もあって屯田兵制度を設け、開拓とともに北方のロシアに対する備えとした。

政府は、積極的に西洋の近代思想や生活様式などを導入した。この風潮は当時、文明開化とよばれた。(㉮)の『学問のすゝめ』は、学がごとく個人が自立し、国家の独立も達成することができることと説き、人びとに広く読まれた。新聞・雑誌による新しい言論活動もさかんになった。森有礼・(㉯)・西岡らの洋学者たちは、1873年に(㉺)を組織し、封建思想の排除と近代思想の普及につとめた。宗教界でも大きな変動がおこった。新政府はそれまでの神仏習合を禁じる(㉻)を出し、これをきっかけに寺院などを破壊する廃仏毀釈が各地でおこった。文明開化の風潮は、東京・横浜などの都市部を中心に急速に広まり、1872年には旧暦を廃して(㉼)を採用した。

新政府は開国和親の方針にそって、諸外国との関係を調整するため欧米に使節を派遣した。使節は条約改正交渉をこころみたりが目的を達するこはできず、欧米の文物・制度を視察して帰国した。近隣諸国との外交では、西郷隆盛・板垣退助らが朝鮮に対して(㉽)をとるなをたがえ、欧米列強から帰国した大久保利通らは国内の改革を優先するべきだとして反対した。その後、1875年に日本が朝鮮半島沿岸に軍艦を派遣して圧力を加えたことから、紛争となった(㉾)がおきた。日本はこの事件を機に、朝鮮に開国

問題ごとに観点別評価項目を表示しているので評価もスムーズ

知識定着の小テストとしても使える

「高校日本史(日探706)」/準拠テスト例

資料を活用した読み解き問題も収録

B問題
詳説日本史 p.229~231

第11章 近世から近代へ

第1問 つぎの資料と会話文を参考に、問いに答えよ。

【資料1】

【資料2】

生徒A：この前の授業でやったグラフについて、教えてくれない？
 生徒B：日本は開港して、本格的に貿易が始まったよね。資料1から、1865年までのグラフをみた時に輸出と輸入はどちらが多かったかわかるかな。
 生徒A：【 X 】だよ。でも、国内におよぼした影響がよくわからないんだよね。
 生徒B：資料2から、輸出品の中心になった【 Y 】ことがわかるよね。あるものが大量輸入されてしまうと、農材には大きな影響が出てしまうね。
 生徒C：それに、【 Z 】が影響して、物価が【 Z 】。これは、あまり効果がなかったけどよね。
 生徒A：まうか、そのために庶民の生活に影響が出てしまったんだね。
 生徒B：そうなんだ、生糸事件やイギリス公使館焼打ち事件などが影響の例といえるね。

問1 会話文中の【 X 】～【 Y 】に入る文章の組合せとして、正しいものを選び、【思考・判断・表現】

ア X：輸出超過 Y：安値な輸出品の生産は拡大した
 イ X：輸出超過 Y：生糸の生産は拡大した
 ウ X：輸入超過 Y：生糸の生産は拡大した
 エ X：輸入超過 Y：安値な輸出品の生産は拡大した

問2 会話文中の【 Z 】に入る文章として、正しいものを選び、【思考・判断・表現】

ア 下がったから、幕府は万延貨幣改鑄をおこなって、貿易統制をはかったよね
 イ 上昇したから、幕府は五品江戸廻り令を出して、貿易統制をはかったよね
 ウ 下がったから、幕府は五品江戸廻り令を出して、貿易統制をはかったよね
 エ 上昇したから、幕府は万延貨幣改鑄をおこなって、貿易統制をはかったよね

問3 会話文中の下線部に関して当時の庶民の生活への影響から、国内でどのような動きがみられたか、会話文を参考に30字程度で述べよ。【思考・判断・表現】

「詳説日本史(日探705)」/準拠テスト例

11 年間指導計画・評価規準例



歴総 707 歴総 708 歴総 709 日探 705 日探 706 世探 704 世探 705 世探 706
授業準備 → 授業 → テスト・評価

Point 年間指導計画に評価の規準も収録

複数教員で担当しても評価規準を揃えられるので安心

12 観点別評価集計表



※こちらのデータは山川出版社ホームページからダウンロードいただけます 授業準備 → 授業 → テスト・評価

Point 観点別評価に対応した評価集計ファイル

「観点別評価集計表.xlsx」利用マニュアル
株式会社 山川出版社

利用マニュアルも収録、はじめての利用でも安心

自動計算で評価を算出、スムーズな観点別評価を実現

弊社HPからダウンロードして今すぐご利用いただけます

ダウンロード

こちらから



詳説世界史

世探704 B5変型判(230mm×174mm) 398頁 予価886円

[編者]

木村 靖二 東京大学名誉教授
岸本 美緒 お茶の水女子大学名誉教授
小松 久男 東京大学名誉教授
橋場 弦 東京大学教授

[著作者]

阿部 幸信 中央大学教授 林 佳世子 東京外国語大学学長
池田 嘉郎 東京大学教授 村上 衛 京都大学教授
勝田 俊輔 東京大学教授 株式会社 山川出版社
島田 竜登 東京大学准教授

[編集協力者]

石井 栄二 東京都立国立高等学校教諭
藤本 和哉 筑波大学附属高等学校教諭

(2024年3月現在)

- 図版(写真) 495点
- 地図 119点
- グラフ・図表 52点(グラフ9+図24+表19)
- 文字資料 50点
- 二次元コード 29点

世界史の枠組みを体系的に学べる 信頼の教科書

1 バランスよく、わかりやすい丁寧な記述 →p.76-77

- 分野・時代・地域をバランスよく、**背景や因果関係も丁寧に記述**しました。
- 近年の歴史学の研究成果を豊富に盛り込み、**日本史も含めた同時代のつながりにも配慮**しました。

2 時代の特色をつかむ多様な問いかけ →p.78-79

- 章・節、小見出しなど随所に「問い」を設けて、学習目的が明確にわかるようにしました。
- 第1部～第III部の冒頭に「**第0部を学ぶ前に**」を、終わりには「**まとめ**」を設け、構造的に世界史を理解できるようにしました。

3 探究活動に取り組みやすい 大きな図版・豊富な史資料 →p.80-81

- **判型を大きくし** (A5判→B5変型判)、図版や図表・文字資料を大幅に増やしました。
- **二次元コードから、図版・史資料をより詳しく** 見ることができるようになりました。
- 第IV部の第19章には、現代の課題を歴史的にみるコラム「**現代世界への視点**」を設けました。

message



木村靖二
(きむらせいじ)

東京大学名誉教授 (ドイツ近現代史)

この新しい世界史では、古代から現在までの歴史過程を、それぞれの地域での文明の成立期、各文明の交流期、さらに欧米文化による世界の一体化期、そして一体化が深化したグローバル化世界の4期に分けています →p.74。つまり歴史を、各地域を軸に、それらが時間とともにどのように変容してきたのか、また各地域が相互にどのように交流したり、競合したり、対立したり、合同したり、分離したりしたのかをみていくのです。そのなかで各地域もさまざまな変容し、拡大したり、縮小したり、あるいは消滅したりすることもおこりました。

グローバル化の深化とともに、各地域・国家は同質的な構造の世界に変容していくかのように見えてきました。しかし、グローバル化した世界では、地域や国家の多様性がかえって増大しているのです。たとえば、先進地域の人口は現在停滞か縮小に向かっています。一方、発展途上地域では人口は増えつつあり、両地域の格差や対立が広がりつつあるのではないかと指摘されています。こうした問題を理解するには、個々の地域や歴史などそれぞれの特有な形成過程から、グローバル化した世界を考える視点が求められます。歴史総合で学んだことを踏まえて、その理解をさらに深める助けとなるよう願っています。



橋場 弦
(はしばゆずる)

東京大学教授 (ギリシア古代史)

第I部の1・4章と第II部の7章では、ヨーロッパに文明が生まれ、周辺諸地域と交流しながら変容し展開していく流れが描かれています →p.72。

のち世界の一体化を主導していくヨーロッパ文明ですが、その誕生の起源をたどると、実は西アジアやエジプトの古代文明から色濃く影響を受けていたことがわかります。近年、ポスト=コロニアリズムの影響を受けて西欧中心主義的な歴史観が反省を迫られていますが、古代ギリシア・ローマ文明の見方も例外ではありません。ポリスという都市国家を古代ギリシア人が建設するにあたっては、オリエン特文明からさまざまなアイデアを取り入れました。ローマ人はその都市国家体制からスタートして、ついには地中海世界を統一しました。ローマ帝国が崩壊したあとに成立した西ヨーロッパ世界は、やがて近代資本主義体制の中核としての地位を獲得していきます。ユーラシア大陸西端の一地域にすぎなかったヨーロッパが、近代世界の成立に大きな役割を果たすようになった背景には、それ以前から積み上げられていたさまざまな歴史的な条件が働いていたと言えます。

今回の教科書では、その一連のつながりがわかりやすいように構成を大きくあらため、設問や史料も一新して、近代以前のヨーロッパ世界の成り立ちがより明快に把握できるよう配慮しました。



岸本美緒
(きしもとみお)

お茶の水女子大学名誉教授 (中国明清史)

世界史教科書の作成においては、一定のバランスと安定性を保ちつつ、歴史研究の進展に即応した新しい内容を取り入れていくことが課題となります。今回、「世界史探究」という新しい科目の教科書として『詳説世界史』を編集するに際しては、気鋭の研究者を多数新たな執筆陣として迎え、近年の歴史研究の成果に基づき、内容の刷新を図っています。

東アジア・東南アジアに関しては、諸地域間の影響・対立関係や文化的融合の状況について現行版以上に留意し、一國史の束にとどまらない歴史のダイナミックな動きを読み取っていただくよう工夫しています。図版や史料も、そのようなポイントを考慮して、いわゆる定番ではない新味のあるものも選ばれていますので、「問い」と合わせて、本文と有機的に結びつけて活用していただければ幸いです →p.78。

用語の選択については、今までゴシック体であった語を注に移しているなど、従来との相違にお気づきの点もあるかと思いますが →p.76。これらは、単位数削減に伴う用語精選の必要とともに、研究の現状に依拠するという観点から、今後のスタンダードとなることを見据えて、教科書としての安定性も考慮しつつ慎重に検討した結果のものです。これらの新しい特色を生かして授業・学習をおこなっていただくことを願っています。



小松久男
(こまつひさお)

東京大学名誉教授 (中央アジア近現代史)

今回の執筆は教科書の構成と内容を大きく見直す機会となりました。全体として最近の研究成果を取り入れるとともに、世界史理解のバランスをとるよう努めました。私が担当した部分での新しさとしては、下記の点を挙げることができます。

従来の地域名称「内陸アジア」を「中央ユーラシア」に改め、遊牧民の活動が東アジアや西アジアなどユーラシアの各地に与えた影響や相互関係が理解しやすくなるようにしました →p.76。中央ユーラシアを統合したモンゴル帝国については、同時代の東西交流の説明を拡充し、ティムール朝はモンゴル帝国に続けて解説することで両者の関係性がわかるように工夫しました。

西アジア関係ではイスラーム教成立後の記述を一新し、イスラーム圏の広がりや役割をより鮮明とするよう努めました。文化面にも目配りしたほか、オスマン帝国については成立から近代に至るまで見通せるように配慮し、現代の中東については重要なテーマとしてパレスチナ問題とイスラーム主義の展開に留意しました。

また、図版については歴史的なイメージを喚起するものを採用しました。たとえば、世界地図「混一疆理歴代国都之図」(教科書147頁)などは是非じっくりと見ていただきたいと思います。

「世界史B」版と「世界史探究」版の対照表



「世界史B」版



「世界史探究」版

とくに分割・統合されている箇所の対応関係を、同色の網掛けや矢印で示しています。

部・章・節
世界史への扉① 気候変動と私たち人類の生活
世界史への扉② 漂流民のみた世界
世界史への扉③ 砂糖からみた世界の歴史
序章 先史の世界
第I部
第1章 オリентと地中海世界
1 古代オリент世界
2 ギリシア世界
3 ローマ世界
第2章 アジア・アメリカの古代文明
1 インドの古典文明
2 東南アジアの諸文明
3 中国の古典文明
4 南北アメリカ文明
第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成
1 草原の遊牧民とオアシスの定住民
2 北方民族の活動と中国の分裂
3 東アジア文化圏の形成
主題学習Ⅰ 時間軸からみる諸地域世界
第II部
第4章 イスラーム世界の形成と発展
1 イスラーム世界の形成
2 イスラーム世界の発展
3 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化
第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展
1 西ヨーロッパ世界の成立
2 東ヨーロッパ世界の成立
3 西ヨーロッパ中世世界の変容
4 西ヨーロッパの中世文化
第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開
1 トルコ化とイスラーム化の進展
2 東アジア諸地域の自立化
3 モンゴルの大帝国
主題学習Ⅱ 空間軸からみる諸地域世界

部・章・節
世界史へのまなざし① 地球環境からみる人類の歴史
自然環境と人類の進化
世界史へのまなざし② 日常生活からみる世界の歴史
砂糖とコーヒーからみる世界の歴史／余暇からみる現代世界／歴史のなかの家族
第I部 諸地域の歴史的特質の形成
第I部を学ぶ前に
第1章 文明の成立と古代文明的特質
1 文明の誕生
2 古代オリент文明とその周辺
3 南アジアの古代文明
4 中国の古代文明
5 南北アメリカ文明
第2章 中央ユーラシアと東アジア世界
1 中央ユーラシア——草原とオアシスの世界
2 秦・漢帝国
3 中国の動乱と変容
4 東アジア文化圏の形成
第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開
1 仏教の成立と南アジアの統一国家
2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着
3 東南アジア世界の形成と展開
第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成
1 イラン諸国家の興亡とイラン文明
2 ギリシア人の都市国家
3 ローマと地中海支配
4 キリスト教の成立と発展
第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成
1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立
2 ヨーロッパ世界の形成
第II部 諸地域の交流・再編
第II部を学ぶ前に
第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向
1 イスラーム教の諸地域への伝播
2 西アジアの動向
第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開
1 西ヨーロッパの封建社会とその展開
2 東ヨーロッパ世界の展開
3 西ヨーロッパ世界の変容
4 西ヨーロッパの中世文化
第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国
1 アジア諸地域の自立化と宋
2 モンゴルの大帝国

←指導要領Aに対応

←「世界史への扉」の後継

←指導要領Bに対応

←第1章は各地の「古代文明」をまとめています。比較ができるようにも記述を配慮

←「内陸アジア」から変更

←中央ユーラシア・東アジアの相互関係にも配慮

←オリентとギリシア・ローマの繋がりを明確化

←西アジアとヨーロッパの相互関係を注目

←指導要領Cに対応

←イスラーム教が各地に与えた影響に注目

←ティムール朝はポスト・モンゴルとしてモンゴルの直後へ

部
第III部
第7章 アジア諸地域の繁栄
1 東アジア世界の動向
2 清代の中国と隣接諸地域
3 トルコ・イラン世界の展開
4 ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展
第8章 近世ヨーロッパ世界の形成
1 ヨーロッパ世界の拡大
2 ルネサンス
3 宗教改革
4 ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成
第9章 近世ヨーロッパ世界の展開
1 重商主義と啓蒙専制主義
2 ヨーロッパ諸国の海外進出
3 17～18世紀ヨーロッパの文化と社会
第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立
1 産業革命
2 アメリカ独立革命
3 フランス革命とナポレオン
主題学習Ⅲ 資料から読みとく歴史の世界
第11章 欧米における近代国民国家の発展
1 ウィーン体制の成立
2 ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生
3 南北アメリカの発展
4 19世紀欧米の文化
第12章 アジア諸地域の動揺
1 オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容
2 南アジア・東南アジアの植民地化
3 東アジアの激動
第IV部
第13章 帝国主義とアジアの民族運動
1 帝国主義と列強の展開
2 世界分割と列強対立
3 アジア諸国の改革と民族運動
第14章 二つの世界大戦
1 第一次世界大戦とロシア革命
2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国
3 アジア・アフリカ地域の民族運動
4 世界恐慌とファシズム諸国の侵略
5 第二次世界大戦
第15章 冷戦と第三世界の独立
1 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立
2 ミソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興
3 第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り
4 石油危機と世界経済の再編
第16章 現在の世界
1 社会主義世界の変容とグローバル化の進展
2 途上国の民主化と独裁政権の動揺
3 地域紛争の激化と深刻化する貧困
4 現代文明の諸相
主題学習Ⅳ 資料を活用して探究する地球世界の課題

部
第9章 大交易・大交流の時代
1 アジア交易世界の興隆
2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容
第10章 アジアの諸帝国の繁栄
1 オスマン帝国とサファヴィー朝
2 ムガル帝国の興隆
3 清代の中国と隣接諸地域
第11章 近世ヨーロッパ世界の動向
1 ルネサンス
2 宗教改革
3 主権国家体制の成立
4 オランダ・イギリス・フランスの台頭
5 北欧・東欧の動向
6 科学革命と啓蒙思想
第III部 諸地域の結合・変容
第III部を学ぶ前に
第12章 産業革命と環大西洋革命
1 産業革命
2 アメリカ合衆国の独立と発展
3 フランス革命とナポレオンの支配
4 中南米諸国の独立
第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成
1 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動
2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成
3 アメリカ合衆国の発展
4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄
第14章 アジア諸地域の動揺
1 西アジア地域の変容
2 南アジア・東南アジアの植民地化
3 東アジアの激動
第15章 帝国主義とアジアの民族運動
1 第2次産業革命と帝国主義
2 列強の世界分割と列強体制の二分化
3 アジア諸国の変革と民族運動
第16章 第一次世界大戦と世界の変容
1 第一次世界大戦とロシア革命
2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国
3 アジア・アフリカ地域の民族運動
第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成
1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊
2 第二次世界大戦
3 新しい国際秩序の形成
第IV部 地球世界の課題
第18章 冷戦と第三世界の台頭
1 冷戦の展開
2 第三世界の台頭とキューバ危機
3 冷戦体制の動揺
第19章 冷戦の終結と今日の世界
1 産業構造の変容
2 冷戦の終結
3 今日の世界
4 現代文明の諸相
地球世界の課題の探究

←「世界史B」版における大航海時代などの記述をこちらへ移し、アジアの交易が世界に与えた影響に注目

←「世界史B」版の8・9章を統合

←指導要領Dに対応

←環大西洋革命として再編成

←第一次・第二次で章を分割

←国際連合の成立・冷戦の始まりまで

←指導要領E(1)～(3)に対応

←1970年代末を画期として、章を分割

←指導要領E(4)に対応

目次と配当時間例

新学習指導要領に対応した4部構成です。
世界の歴史の大きな枠組みと展開を部ごとに構成しています。

第1部～第3部の冒頭に、諸資料を用いて、生徒の関心を高め
課題意識を育む「第〇部を学ぶ前に」→p.78 を設けました。

目次	
世界史へのまなざし① 地球環境からみる人類の歴史 自然環境と人類の進化……4	
世界史へのまなざし② 日常生活からみる世界の歴史 砂糖とコーヒーからみる世界の歴史……8 / 余暇からみる現代世界……10 / 歴史のなかの家族……12	
第I部 諸地域の歴史的特質の形成 ……………15	第II部 諸地域の交流・再編 ……………103
<ul style="list-style-type: none"> 第I部を学ぶ前に……16 第1章 文明の成立と古代文明の特質……18 <ol style="list-style-type: none"> 1 文明の誕生……18 2 古代オリエント文明とその周辺……20 3 南アジアの古代文明……28 4 中国の古代文明……30 5 南北アメリカ文明……35 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界……37 <ol style="list-style-type: none"> 1 中央ユーラシア——草原とオアシスの世界……37 2 秦・漢帝国……40 3 中国の動乱と変容……44 4 東アジア文化圏の形成……47 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開……54 <ol style="list-style-type: none"> 1 仏教の成立と南アジアの統一国家……54 2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着……58 3 東南アジア世界の形成と展開……60 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成……63 <ol style="list-style-type: none"> 1 イラン諸国家の興亡とイラン文明……63 2 ギリシア人の都市国家……66 3 ローマと地中海支配……75 4 キリスト教の成立と発展……83 第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成……85 <ol style="list-style-type: none"> 1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立……85 2 ヨーロッパ世界の形成……91 	<ul style="list-style-type: none"> 第II部を学ぶ前に……104 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向……106 <ol style="list-style-type: none"> 1 イスラーム教の諸地域への伝播……106 2 西アジアの動向……111 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開……117 <ol style="list-style-type: none"> 1 西ヨーロッパの封建社会とその展開……117 2 東ヨーロッパ世界の展開……122 3 西ヨーロッパ世界の変容……126 4 西ヨーロッパの中世文化……134 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国……137 <ol style="list-style-type: none"> 1 アジア諸地域の自立化と宋……137 2 モンゴルの大帝国……144 第9章 大交易・大交流の時代……150 <ol style="list-style-type: none"> 1 アジア交易世界の興隆……150 2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容……158 第10章 アジアの諸帝国の繁栄……162 <ol style="list-style-type: none"> 1 オスマン帝国とサファヴィー朝……162 2 ムガル帝国の興隆……166 3 清代の中国と隣接諸地域……169 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向……176 <ol style="list-style-type: none"> 1 ルネサンス……176 2 宗教改革……180 3 主権国家体制の成立……184 4 オランダ・イギリス・フランスの台頭……189 5 北欧・東欧の動向……195 6 科学革命と啓蒙思想……199
第I部まとめ……………102	第II部まとめ……………202

目次	
第III部 諸地域の結合・変容 ……………203	
第IV部 地球世界の課題 ……………323	
<ul style="list-style-type: none"> 第III部を学ぶ前に……204 第12章 産業革命と環大西洋革命……206 <ol style="list-style-type: none"> 1 産業革命……206 2 アメリカ合衆国の独立と発展……209 3 フランス革命とナポレオンの支配……212 4 中南米諸国の独立……217 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成……220 <ol style="list-style-type: none"> 1 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動……220 2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成……226 3 アメリカ合衆国の発展……234 4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄……238 第14章 アジア諸地域の動揺……242 <ol style="list-style-type: none"> 1 西アジア地域の変容……242 2 南アジア・東南アジアの植民地化……246 3 東アジアの激動……252 第15章 帝国主義とアジアの民族運動……258 <ol style="list-style-type: none"> 1 第2次産業革命と帝国主義……258 2 列強の世界分割と列強体制の二分化……265 3 アジア諸国の変革と民族運動……270 第16章 第一次世界大戦と世界の変容……278 <ol style="list-style-type: none"> 1 第一次世界大戦とロシア革命……278 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国……284 3 アジア・アフリカ地域の民族運動……292 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成……300 <ol style="list-style-type: none"> 1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊……300 2 第二次世界大戦……308 3 新しい国際秩序の形成……314 	<ul style="list-style-type: none"> 第18章 冷戦と第三世界の台頭……324 <ol style="list-style-type: none"> 1 冷戦の展開……324 2 第三世界の台頭とキューバ危機……328 3 冷戦体制の動揺……332 第19章 冷戦の終結と今日の世界……339 <ol style="list-style-type: none"> 1 産業構造の変容……339 2 冷戦の終結……344 3 今日の世界……349 4 現代文明の諸相……358
地球世界の課題の探究……364	世界史年表……366
索引……378	世界の自然・世界の気候区分……表見返し
現代の世界……裏見返し	
合計105時間	
第III部まとめ……………322	

【二次元コード】
本書の以下の頁に掲載した二次元コードから、インターネットを使用した学習ができます。二次元コードの使用にあたって使用料はかかりませんが、通信料がかかります。インターネットを使用する際には、先生の許可を得たうえで使用してください。また、使用にあたっては個人情報の扱いに十分注意してください。
p.21/p.22/p.41/p.61/p.62/p.74/p.87/p.99/p.116/p.123/p.134/p.140/p.147/p.151/p.155/p.165/p.168/p.179/p.207/p.213/p.215/p.239/p.245/p.252/p.259/p.299/p.312/p.314

【本書の使用上の注意】
暦……西暦を使用し、必要により中国暦・ロシア暦などを用いて説明した。
在位・在任・生没……原則として元首は在位・在任年を、ほかの人物については生没年を付記した。
外国語の仮名表記……人名および地名は原語に近づけて表記するようにしたが、慣用の定着しているものはこれに従った。
史料引用……できるだけ必要な部分にとどめたが、前略・後略は特別には記さなかった。また、読みやすく書き改めたところもある。出典は文末に()の形で示した。

分野・時代・地域を
バランスよく
構成しています。

各部の終わりには、世界史の枠組みや展開を構造的に
理解するために、「まとめ」→p.79 を設けました。

さらなる探究活動を想定し、二次元コードから、本文に掲載した**図版の全体図や
部分拡大、追加の図版・文字資料**などを参照できるようにしました →p.81。

1. バランスよく、わかりやすい丁寧な記述

歴史学の研究成果を反映

本書では、全体にわたって近年の歴史学の研究成果を豊富に盛り込みました。例えば2章では、「内陸アジア」から「中央ユーラシア」へ名称を変更し、さらに中央ユーラシア・東アジア・西アジアの相互関係についても理解できる記述としました。また、古代中国の政治や社会についても記述を刷新しています。

2章 中央ユーラシアと東アジア世界

匈奴の国家と秦・漢が現れた紀元前3世紀以降、ユーラシアの東側には、遊牧と農耕の2つの世界が並び立った。7世紀、可汗と皇帝を兼ねた唐の君主がこれらを統合した。

1 中央ユーラシア——草原とオアシスの世界

中央ユーラシアの人々の動向は、世界の歴史にどのような影響を与えたのだろうか。

中央ユーラシアの風土

中央ユーラシアの風土に適應して、人々はそのような生活を営むようになったのだろうか。

ユーラシア大陸の中央部は、パミールの東西にのびる大山脈が高温多湿のアジアの季節風(モンスーン)をささぎるために乾燥し、寒暖の差が大きい大陸性気候を特徴とする。ここには東のモンゴル高原から西の黒海北岸にかけて広大な草原が連なり、その南にはいくつもの砂漠が広がっている。そして、砂漠のあいだには高山地帯の雪解け水を水源とする

中央アジアのオアシスが点在する。この広大な空間を中央ユーラシアと呼ぶ。ここでは、きびしい環境に適応した草原の遊牧民や、オアシスの定住民が活躍し、彼らは周辺の諸勢力と様々な関係を結びながら世界史の展開に大きな役割を果たした。

ユーラシア大陸中央部の地域名称。その範囲は一定ではないが、パミールの東西に広がる砂漠・オアシス地域と北部の草原地帯を中心とする。現在では、カザフスタン、ウズベキスタン、トルクメニスタン、タジキスタン、キルギス、中国の新疆ウイグル自治区などの地域にあたる。

内陸アジアという名称も長く用いられてきた。

兵丁300名を擁した

中央ユーラシアの草原地帯とオアシスの存在する地域

中央ユーラシアの地勢と遊牧諸勢力の移動

1. 中央ユーラシア——草原とオアシスの世界 37

章・節・小見出しなどに「問い」を新設しました。→p.79



秦(始皇帝)、度量衡・文字の統一、北方では戦国時代以来の項羽を破った農民出身の劉邦が、諸

漢王明を開いた(前漢)。

漢は秦の制度の多くを引き継いだ。高祖は秦の近くに新都長

安(現在の西安)を建設し、統一以前の秦の領域を郡県制によって直接支配する一方、功臣や一族を王に任じて、かつての東方諸国の領土をゆだねた。

高祖の死後、皇帝と諸王の対立が深まり、やがて軍事衝突に発展した(異姓七国の乱)。これに勝利した皇帝は、諸王国の統治に干渉するようになった。前2世紀後半に即位した武帝は、匈奴を撃退するとともに、諸王の実権を奪い、南越国や衛氏朝鮮を滅ぼして、漢の支配下に入れた。また、張騫を大月氏に派遣したことをきっかけに、中央アジアの交通路をおさえて、タリム盆地一帯にまで勢力を伸ばした。

武帝は、地方長官の推薦で官吏を選任する人事制度(郡舉里選)をとり、諸王にも中央から官吏を派遣し、さらに監察官を送って全国を監視した。経済面でも、塩・鉄の専売や物価調整策などによって国内の統合

2. 漢・秦帝国 47

記述の刷新、歴史用語の精選

近年の歴史学の研究を踏まえて、世界史B版から記述を刷新しました。また、註を充実させてその詳細や位置づけをわかりやすくするとともに、用語数も精選しています。

新たな視点で、よりわかりやすく丁寧な記述

近世～近代にかけてのヨーロッパ史の記述も、近年の研究成果や新たな視点を盛り込んで刷新しました。

さらにイギリスは、オランダ・フランスとの競争に勝利して世界各地に交易網を広げた結果、高度に商業化した社会に変質した。

イギリス産業革命と資本主義

イギリス産業革命は、世界経済や社会にどのような影響を与えたのだろうか。

イギリスでは、17世紀に華やかな模様のインド産綿織物が輸入され、人気商品となった。これにより主要工業の毛織物業が打撃を受けると、18世紀初めにはインド産綿織物の輸入が禁止された。しかし、綿織物の人気は衰えず、原料の綿花をインドから輸入して国内で綿織物を生産する動きも始まった。また、当時イギリスは広大な海外市場を獲得しており、とくに七年戦争後には、綿織物の輸出をその一環とする三角貿易を大西洋で大規模に展開していた。

こうして国内外で綿織物への需要が高まったことに加え、イギリスでは科学革命を背景とする機械工学の伝統があり、さらに鉄鉱石や石炭などの資源にもめぐまれていた。これらの条件が重なって、18世紀後半のイギリスで種々の技術革新が生まれ、産業革命が始まることになった。

一連の技術革新のなかでもっとも重要なのが、すでに炭坑で用いられていた蒸気機関の製造業への転用である。ここに歴史をはじめ、化石エネルギーを動力源とする経済活動が本格的に始まった。これによって、1つの工場当たりの生産力は急増したが、新しい機械の導入は多額の資金を必要とし、さらに不況による倒産も珍しくなかった。

1840年の紡績工場 当初の繊維産業では機械の操作に高度な技術が必要とされたため、機械を動かす労働者の多くは、低賃金で雇われた女性や子どもであった。

産業革命時代のイギリス

発明品・発明者	発明年
蒸気機関	18世紀初め
ニューコメン	18世紀初め
動力装置	18世紀初め
ポンプ	18世紀初め
ダービー	1709年
コーク製鉄法	1709年
鍛錬	1709年
ジョン・ケイ	1733年
飛び織	1733年
織布機	1733年
ハーグリーブズ	1764年頃
多梳紡績機(珍妮紡績機)	1764年頃
紡績機	1764年頃
ワット	1769年
蒸気機関の改良	1769年
動力装置	1769年
アークライト	1769年
水力紡績機	1769年
紡績機	1769年
クロフトン	1779年
ミュール紡績機	1779年
紡績機	1779年
カートライト	1785年
力織機	1785年
織布機	1785年
フルトン	1807年
蒸気船	1807年
交通手段	1807年
スティーブソン	1814年
蒸気機関車	1814年
交通手段	1814年

織工業・交通手段におけるおもな技術革新

1. 産業革命 207

と(無政府主義)で、私有財産制の不平等を和らげることができ、思想を大成したのが、ドイツのマックスとエンゲルスである「共産党宣言」(1848年)を公刊して、土地や工場、銀行など要素を公有化するための社会革命が必要であると説いた。ルクスは「資本論」(1867年に第一部)を著して、資本主義にお勤者は自由な立場で労働してもその報酬を完全には受け取れ(搾取)があり、他方で資本家も利潤を無限に拡大することはめ、こうした無理のある経済体制はいずれ崩壊すると論じて(義)、大きな影響を与えた。また、両者は19世紀後半に労働階級の連帯と革命運動を指導した。

主義とは別に、慈善団体やキリスト教の教会は、生活改善や労働者にうながすことで、彼らの境遇の向上を試みた。

命

ヨーロッパにおいて、1848年革命の影響を受けなかった国や地域はどこだろうか。

半におけるヨーロッパの近代工業はなお発展段階で、旧制度から解放された貧しい農民や都市の下層民衆に、十分な雇用機会を提供できなかった。さらにこの時期はヨーロッパ全体で人口が上昇したため、貧民層も増えて「大衆貧困」と呼ばれる深刻な社会状況が広がった。こうした背景のもと、ヨーロッパ各地で政府や富裕市民層の責任を問う革命的気運が高まった。

七月王政下のフランスでは、銀行家など一部の富裕層に富が集中し、多額納税者だけに選挙権を認める制限選挙による政治がおこなわれていた。それに反発した中小市民層や一般民衆のあいだには選挙権拡大運動が広がり、政府がこれを力でおさえようとすると、1848年2月にパリ

トクヴィルによる1848年1月の議会演説(抜粋)

議員諸氏よ、……労働者階級のなかでおこなっていることに注目していただきたい。……そこでは人びとが、彼らより上層の者たちは彼らを統治する能力を失い、その資格もなくなっている、くり返し繰り返しているのをお聞きにならないだろうか。……富の分配は正義に反すると、所有は公正ではない基礎の上に支えられているといったことが、たえず言われているのを御存知ではないのでしょうか。そしてこうした見解が……大衆の底辺にまで浸透していったとき、……遅かれ早かれ最も恐るべき革命が引き起こされるに違いない、ということをお感じにならないだろうか。……われわれは活火山の上にいるのに眠り込んでいるのだと思う。

(安岡訳『フランス二月革命の日々』トクヴィル回想録)

トクヴィル(1805～59)は、アメリカ合衆国の民主主義を考察して、自由主義者に影響を与えたフランスの政治家・政治学者である。こゝに引かれている「活火山」とは具体的に何のことだろうか。

224 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成

本文の理解を深めることができたり、とくに重要な史料を掲載しています。本文の記述を踏まえ、考察力や思考力を高める「問い」も付しています。→p.80

新視点の導入、わかりやすく丁寧な記述

新しい視点を取り入れて、従来の事項もよりその歴史的位置づけがわかりやすいようにしました。また、歴史的事象のつながりなど丁寧な記述を心がけ、「歴史総合」との接続についても意識しています。

2. 時代の特色をつかむ多様な問いかけ

「第〇部を学ぶ前に」

歴史学習に対する生徒の関心を高め、課題意識を育むために、第1部～第3部の冒頭に「第〇部を学ぶ前に」を設けました。諸資料の読み解きを通して、部を貫く視点や概念などを考察し、さらに生徒自身が独自の問いを立てられるように工夫しました。

部を貫く視点や概念の一例として、第1部では身分・階級や王権と宗教との関わりを、第2部ではヒトやモノの移動および経済との関わりを、第3部ではマスメディアについて取り上げました。

I 学ぶ前に 古代文明や諸地域の歴史的特質とは何だろうか？

第1部では、各地の古代文明や諸地域の歴史・特徴を個別に学んでいく。一方、それらを別の視点から読み解くと、地域ごとに異なる点や事例をまたいで共通する点も見出すことができる。その視点は、生業、身分・階級、王権、宗教、文化・思想など様々な考えられるだろう。ここではその一例として古代の西アジアに注目し、多様な身分・階級が生まれた背景やその役割、王権と宗教の関係などについて考えてみよう。



農作業をおこなう古代エジプトの農民たち(新王国時代の墓の壁画) 農民たちはどのような作業をおこなっているのだろうか。また、右端に大きく描かれている人物は何をしているのだろうか。

① シュメール人による農作業の手順(前18世紀～前17世紀) 古代メソポタミアの農民たちはどのような負担を負っていたのだろうか。お前が畑に灌漑をする準備をしなければならぬ時は、運河の上手や番のどほこを取り除くために水を注ぎなければならぬ。お前が畑に水を入れた時、その水をあまり高くないようにせよ。水が引いて畑が出て来た時には、畑の裏んだ地点を調べ、そこは開きをせよ。牛に畑を踏ませよ。雑草を処理した後で畑の輪郭を決め、そこを何度も3分の2マナの重さの薄い織で均せ。平たい織で牛の蹄跡を消し、「畑を」きれいにせよ。(歴史学研究会編「世界史1」)

ドゥアケティという名のシレ(地名)の男が、ベドという名の息子に与えた教訓の始まり。その時、彼は、その息子を王都でもっとすぐれた学校に、貴族の子供たちと一緒に入学させるために、王都に向かって船で南へと行くところだった。そして彼はベドに言った。「私は鞭で打たれる者を見た。お前はそれを青物に付けるべきだ。労働者として人が連れ去られる者を見なさい。青物に勝るものはない。それは水上の船だ。ケミト(書記教育の教科書)の終りを読みなさい。そこにはこの言葉がある。日く、「書記は王宮のどんな地位にあって、そこで困窮することはない。」(歴史学研究会編「世界史1」)



② エジプト・中王国時代の「ドゥアケティの教訓」(前19世紀後半)と書記像(古王国時代) ③ はどのような目的で書かれたのだろうか。また、書記と呼ばれた人々はエジプトでどのような役割を担い、ほかの職業と比較してその社会的な地位はどのようなものであったと推測できるだろうか。

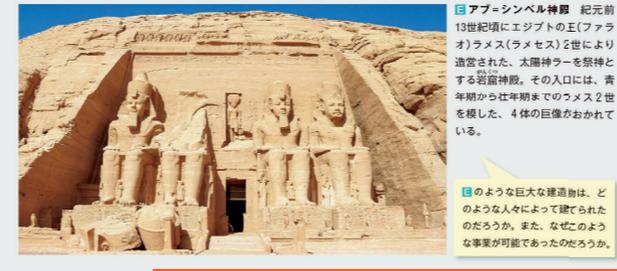
Timeline table showing historical events from 10000 BC to 13000 BC, including the rise of agriculture and early civilizations.

古代の西アジア・東地中海地域のおもなできごと

④ 強き王、アッカドの王ナラム=シンは、四方世界が後に反乱した時、イシュタル神が彼に示した愛によって、1年で9つの戦いに勝利した。そして彼ら立ち上った下を捕らえた。彼が彼の町の基礎を位から守ったことを見て、彼の町の人々は、エンナのイシュタル神、ニップルのエンリル神、トウトウルのダガン神、ケシュのニルサグ神、エリドのエア神、ウルのシン神、クタのネルガル神に、彼をして彼らの町の神となるように願った。そして彼らは、アッカド市の中に彼のための神殿を建立した。(歴史学研究会編「世界史1」)



⑤ アッカド王、ナラム=シンの碑文(前18世紀～前17世紀)と戦勝記念碑 上は古代メソポタミアの都市国家を統一したアッカド王国の最盛期の王ナラム=シンの碑文。右はナラム=シンが近隣の民族を征服した際の記念碑(部分)。



⑥ アブ=シンベル神廟 紀元前13世紀頃にエジプトの王(ファラオ)ラメセス2世により造営された、太陽神ラーを祭神とする岩窟神廟。その入口には、青年期から壮年期までのラメセス2世を模した、4体の巨像がおかれている。 ⑦ どのような巨大な建造物は、どのような人々によって建てられたのだろうか。また、なぜこのような事業が可能であったのだろうか。

Q1 西アジア以外の地域では、どのような身分の人々が統治をおこなったのだろうか。また、統治者と宗教はどのような関係にあるだろうか。 Q2 資料に対する疑問や興味、または関心のある視点にもとづいて、自分自身で第1部への問いを立ててみよう。

充実した「問い」や部の「まとめ」

「問い」の新設

- ・ 章冒頭に、章内容の概観と、それを理解するためのヒントとして「問い」を設けています。
・ 節冒頭や小見出しにも「問い」を設け、学習の内容や目的を明確化しています。「問い」は本文を読んで解答可能な内容にしました。

Section 19: 冷戦の終結と今日の世界. 1970年代以降の産業構造の変容を経て、90年代初めまでに冷戦は終結した。今日の世界は多極化する一方、環境問題などでは国際的な協力を模索している。
Q 今日の世界には、どのような課題があるのだろうか。

産業構造の変容
Q オイル=ショックの前後で、世界の社会と経済はどのように変わったのだろうか。

福祉国家と公営
Q 先進諸国の社会では、経済成長ともなっていくような変化が生じたのだろうか。

1960年代以降、西側先進諸国では、国家が国民の福祉に手厚く配慮する福祉国家的な政策がしだいに主流となった。第二次世界大戦以前に福祉国家化が始まっていた北欧諸国に加えて、西側諸国でも、社会主義を掲げる政党がしばしば政権を担い、無償あるいは低額での教育・医療・福祉サービスを実現したほか、大規模な公共事業によって雇用の

節・小見出しの「問い」の解答例は、『詳説世界史 教師用指導書授業実践編』に掲載しています。

1節 Q 解答例 先進国では量から質への産業構造の転換が始まるとともに、福祉国家的政策が批判され、「小さな政府」をめざす新自由主義的政策が登場した。開発途上国では、低賃金を背景に先進国への工業品輸出による高い経済成長率を実現した。

解答例 社会主義のもとでの福祉国家的な政策が進む一方で、公害という社会問題が発生し、自然破壊も進んだ。

I まとめ

古代の社会と国家

大河の治水や灌漑のために強大な権力が必要とされたオリエントや東アジアでは、支配者の権威に多くの人が服従する垂直型の社会が特徴で、中央集権的な領域国家が早くから育ち、そのなかから古代帝国が現れた。黄河・長江流域に生まれた秦・漢帝国も、農業生産と治水を指導する政治権力がつくり上げたもので、官僚制による整然とした国家制度が特徴である。他方、大河や大平野のないギリシアでは、独立して農業を営む市民たちが都市国家をつくった。市民たちが対等の立場でものごとを決める政治の伝統は、ギリシアからローマに引き継がれた。しかし、征服の拡大とともに都市国家としての性格を変質させたローマ帝国は、地中海世界とその周辺を政治的に統合し、のちのヨーロッパの母体となった。南アジアでは、カースト制度という独自の階級制度にもとづいた古代帝国が出現した。

宗教と国家

宗教の発展は、古代国家の支配体制と深くつながっていた。オリエントには多神教が生まれ、最高神の権威を利用した神権政治が支配の仕組みを支えていた。ギリシアでは、同じく多神教が信仰されながらも、政治を動かす主人公は神々ではなく、あくまで市民たちであった。ローマは世界帝国になると、皇帝を神の一人として崇拝させた。パレスチナに誕生した一神教であるユダヤ教は、のちにキリスト教を生みだし、キリスト教はローマ帝国を支える国家宗教に発展した。南アジアでは、バラモン教の世界観がのちのカースト制度の原型を形づくり、社会秩序の根本となった。ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教もここから生まれた。仏教は南アジアでは衰退し、むしろ東アジアや東南アジアにおいて国家権力と結びついて興隆した。しかし、東アジアの政治的秩序を支えたのもっとも重要な思想的背景は、古代中国に生まれた儒教である。その礼と徳の思想は、皇帝支配の論理として長く影響力を保ち、華夷思想にもとづく国際秩序にも根拠を与えた。

まとめの問い

- ① 古代国家の支配の仕組みは、それぞれの地域の経済や社会とどのような関わりがあったのだろうか。いくつか取り上げて、その特徴を考えてみよう。
② 古代国家は、宗教や思想をどのように統治に利用したのだろうか。いくつか取り上げて、その特徴やのちの時代への影響について考えてみよう。

テーマにそった図版・文字資料の読み解きを積み重ねることで、部の学習内容に対する考察を広げられるようにしました。

考察をまとめ、さらに生徒が自分自身で部の学習に対する問いや目標を立てることができるように工夫しています。

振り返り学習の「まとめ」

第1部～第3部の終わりに「まとめ」を設けました。「まとめの問い」とあわせて、世界史の枠組みやその展開を構造的に理解する一助としています。

3. 探究活動に取り組みやすい大きな図版・豊富な史資料

図版・史資料の充実、コラムの新設

判型を大きくし、図版や史料を豊富に掲載しました（写真・地図約600点、図表・文字資料約100点）。随所に二次元コードを掲載して追加の図版・史料も利用できるようにしています。また、19章には現代の課題に関わるコラム「現代世界への視点」を新設しました。

世界と日本のつながり

歴史的な背景や因果関係をわかりやすく説明し、世界と日本のつながりにも配慮しています。

観星台 (元代の天文台) 郭守敬は中国各地に設けられた観星台において、西アジアの天文学の技術を取り入れつつ、精密な天体観測をおこなった。そのデータをもとにつくられた授時暦は、日本にも受容された(江戸時代の貞享暦)。

新安沈船 韓国西部の新安沖からみつけた、元の時代の沈没船。いわゆるジャンク船で、日本の社名を記した木筒の荷札とともに、膨大な数の陶磁器や宋の銅銭が発見されている。

銀錠 モンゴル帝国で流通した銀塊は、約2kgが基本単位であった。形状は様々だが、同じ重さのものが世界各地から出土している。2kgの銀錠を「元宝」と呼ぶ習慣は、こののちも中国に残った。

交鈔 この写真のものにはクビライ時代の年号が入っている。額面は様々で、これは銅貨の価値(もと銀錠の分の1に相当)とされたものである。ただし、交鈔の実際の価値は大きく変動した。

漢ムラビ法典

「塩鉄論」禁耕

秦・前漢時代のアジア

これは、武帝の死後に役人と学者が塩・鉄の専売の是非を議論した記録である。この一節から、鉄の専売はどのような意味をもっていたと考えられるだろうか。

そもそも秦・楚・燕・齊では、土地の肥沃さや硬さが異なります。農具の大きさや形状も地域ごとに違い、それぞれ適したものがあるのです。ところが国家が鉄器の製造を一手に握り、規格を統一してしまったので、鉄製農具は使いにくくなり、農民も不便を強いられることになりました。おかげで農民は耕作に疲れ、土地は荒れ放題となって、みな困窮しております。(著者訳)

を進めたが、こうした集権的な政策は、匈奴との戦いなどあいつぐ外征による社会不安や財政難への対応でもあった。しかし、徳や礼を重んじ

デジタルの活用

二次元コードを掲載し、図版の全体図や部分拡大、別部分(「清明上河図」〈教科書140頁〉、サン=ヴィターレ聖堂のモザイク〈教科書123頁〉など)、追加の文字資料などを利用できるようにしました。

遷移画面例

「清明上河図」のデジタル活用例。左側は全体図、右側は部分拡大のモザイク。1と2の番号が示すように、モザイクの拡大と移動が可能。

「漢ムラビ法典」のデジタル活用例。下部のダウンロードボタンをクリックすると、PDFファイルがダウンロードできる。

コラム「現代世界への視点」

19章には現代世界の課題を歴史的に扱うコラム「現代世界への視点」を設けて、世界史探究のゴールとなる「地球世界の課題の探究」につなげられるようにしました。

現代世界への視点④ ジェンダーの考え方と両性の平等化への課題

Q ジェンダーとはどのような考え方だろうか。また、両性の平等をめくって日本や世界にはどのような課題があるのだろうか。

女性とは女性らしくなければいけない、あるいは、女性のつとめは家を守ることだといった価値観は、長いあいだ世界中で女性の活躍の機会を制限してきた。20世紀後半に登場したジェンダーという考え方は、このような価値観を切り崩すのに大きな役割を果たした。身体的な性とは別に、社会的な規範としての性があるというのがジェンダーの考え方である。この観点に立って、女性はどうあるべきかといった規範や、両性の役割分担の実態は、歴史的に決して不変ではなく、時代や社会状況によってかわってきたし、今後かわりう

ることが明らかになってきた。それでも男性中心の社会構造はなかなかかわらないし、日本ではとくに遅れがめだつ。両性の役割を固定的に考える発想を、批判的に見つめ直すことが必要であろう。そうすることは、女性ばかりか男性の可能性を広げることにもつながる。実際、「男らしさ」という規範は、男性同士の仲間関係をうちかためる一方で、仲間に軽蔑されないようにあえて暴力的にふるまうといった行動を、往々にして男性に強めてきたのである。

コラムにも、読み解きの一助となる「問い」を設けています。



山川 詳説日本史図録 第10版

日探 705

AB判/376頁/4色刷/定価990円(10%税込)/ISBN978-4-634-02531-8

Point

教科書の章・節・小見出しに沿った構成資料を読む視点として、見開きごとにページの下にQ&Aを配置

項目のまとめとして、ページの冒頭に年表や模式図を示しています

見開きごとにページの下にQ&Aを配置

教科書には掲載していないものを中心に、写真約2500点、図版約1200点を収録

見開き形式で100点になるよう構成しています

地図や写真、史料、図などを用いた問題も多く収録しています

※この教材は、書店店頭での販売は行っていません



詳説日本史 スタンダードテスト

日探 705

B5判/136頁+解答24頁/2色刷/定価825円(10%税込)/ISBN978-4-634-02242-3

Point

知識問題を中心に教科書の内容を確認する標準的な難易度のテスト集教科書の流れに沿った見開き1テーマ構成で、授業との併用や自学自習に最適

教科書の注は本文に組み込みました

解答欄は書きこみやすい大き目で、字数分の下線付き

必要に応じて整理欄を設けています

※この教材は、書店店頭での販売は行っていません



詳説日本史 10分間テスト

日探 705

A5判/164頁+解答24頁/2色刷/定価770円(10%税込)/ISBN978-4-634-02241-6

Point

教科書の内容を79のテーマに分け、各テーマの基本事項を20問の一問一答形式で確認右ページの「補充・復習」は、知識を充実させるための追加問題や地図・表形式の関連問題で構成

左ページの「10分間テスト」で、基本的な知識を短時間で確認

各問題にチェック欄を設け、繰り返し学習を促します

「補充・復習」では、追加の関連問題で知識をさらに充実



書きこみ教科書 詳説日本史

日探 705

A5判/368頁/2色刷/定価1,100円(10%税込)/ISBN978-4-634-01221-9

Point

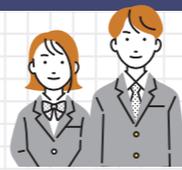
教科書の文章を読み進めながら空欄に重要用語を書きこむ学習参考書必要に応じて整理欄を設け、文学作品・美術作品の一覧表や写真も掲載

教科書の注は本文に組み込みました

解答欄は書きこみやすい大き目で、字数分の下線付き

必要に応じて整理欄を設けています

※この教材は、書店店頭での販売は行っていません



世界史探究 補助教材

教科書に準拠した
生徒用教材をご紹介します

日本史
総合テスト

日本史総合テスト

日探
705

B5版/192頁+解答64頁/2色刷/定価1,100円(10%税込)/ISBN978-4-634-02243-0

Point

入試問題にも対応できるよう編集したテスト形式の問題集
教科書を読み込みながら繰り返し取り組みます

25 織豊政権と・桃山文化

2019年文部科学省「高等学校学習指導要領」の改訂により、歴史科の学習目標として「歴史的事象の因果関係」が掲げられた。従って、歴史的事象の因果関係を理解し、その背景や条件を考察し、その結果や影響を説明する能力が求められるようになった。本書は、この学習目標を達成するための教材として、歴史的事象の因果関係を理解し、その背景や条件を考察し、その結果や影響を説明する能力を養成することを目的としている。

本書は、歴史的事象の因果関係を理解し、その背景や条件を考察し、その結果や影響を説明する能力を養成することを目的としている。本書は、歴史的事象の因果関係を理解し、その背景や条件を考察し、その結果や影響を説明する能力を養成することを目的としている。

用語の穴埋めから正誤判定まで、入試を意識した様々な問題を収録しました

25 織豊政権と・桃山文化

本書は、歴史的事象の因果関係を理解し、その背景や条件を考察し、その結果や影響を説明する能力を養成することを目的としている。本書は、歴史的事象の因果関係を理解し、その背景や条件を考察し、その結果や影響を説明する能力を養成することを目的としている。

充実した解説を掲載した別冊「解答・解説」は、自学自習にも最適です

高校日本史

高校日本史ノート

日探
706

B5判/160頁+解答16頁/2色刷/定価825円(10%税込)/ISBN978-4-634-02233-1

Point

教科書本文に沿って歴史の流れと基本的な事項を習得できます
左ページは重要語句の穴埋め、右ページは教科書の「読みとき」や資料の問いに組み込みます

Check欄に重要語句を記入し、基礎用語の定着をはかります

15 恐慌と第二次世界大戦

1 恐慌の時代(1)

Check

1929年10月、米国で発生した大恐慌は、世界に波及し、日本経済にも大きな影響を与えた。この大恐慌は、世界に波及し、日本経済にも大きな影響を与えた。この大恐慌は、世界に波及し、日本経済にも大きな影響を与えた。

2 恐慌と第二次世界大戦

1929年10月、米国で発生した大恐慌は、世界に波及し、日本経済にも大きな影響を与えた。この大恐慌は、世界に波及し、日本経済にも大きな影響を与えた。この大恐慌は、世界に波及し、日本経済にも大きな影響を与えた。

左ページで習得した知識をもとに資料を用いた問いに組み込む

自由に使えるノート欄

詳説世界史

詳説世界史 授業用整理ノート

世探
704

B5判/272頁+解答24頁/2色刷/定価946円(10%税込)/ISBN978-4-634-04122-6

Point

授業用の書きこみ式ノート、様々な授業スタイルに対応できるシンプルな構成
左ページで知識を確認、右ページの「EXERCISE」で学習内容を確認

左ページでは教科書の内容をわかりやすくまとめている

2 中央ユーラシアと東アジア世界

1 中央ユーラシア—草原とオアシスの世界

中央ユーラシアの歴史は、遊牧民の移動と農耕者の定住の歴史である。この歴史は、遊牧民の移動と農耕者の定住の歴史である。この歴史は、遊牧民の移動と農耕者の定住の歴史である。

2 中央ユーラシアと東アジア世界

EXERCISE

右ページは自由に書きこめるノート欄と学習内容を確認する「EXERCISE」で構成

右ページは自由に書きこめるノート欄と学習内容を確認する「EXERCISE」で構成

準拠教材

※この教材は、書店店頭での販売は行っておりません



山川 詳説世界史図録 第5版

世探 704

AB判/376頁/4色刷/定価990円(10%税込)/ISBN978-4-634-04515-6

Point

巻頭の「同時代の世界」で時間軸と空間軸を整理
文字資料の点数を増やし、各資料に読み解く視点を示す問いをつけています

38 南アジアの古代文明

1 古代文明の成立

2 南アジアの風土と人々

3 インダス文明の形成

4 インダス文明にアリア人の侵入

5 インダス文明の没落

6 インダス文明の遺産

7 インダス文明の謎

8 インダス文明の未来

9 インダス文明の遺産

10 インダス文明の未来

11 インダス文明の未来

12 インダス文明の未来

13 インダス文明の未来

14 インダス文明の未来

15 インダス文明の未来

16 インダス文明の未来

17 インダス文明の未来

18 インダス文明の未来

19 インダス文明の未来

20 インダス文明の未来

地域と時代のインデックス

1 アーリア人の進出と社会制度

2 カースト制度

3 ヴェーダの成立

4 ヴェーダの成立

5 ヴェーダの成立

6 ヴェーダの成立

7 ヴェーダの成立

8 ヴェーダの成立

9 ヴェーダの成立

10 ヴェーダの成立

11 ヴェーダの成立

12 ヴェーダの成立

13 ヴェーダの成立

14 ヴェーダの成立

15 ヴェーダの成立

16 ヴェーダの成立

17 ヴェーダの成立

18 ヴェーダの成立

19 ヴェーダの成立

20 ヴェーダの成立

地域と時代のインデックス
を追加、学習範囲がわかりやすい

単元全体やポイント
を整理・図式化した
「まとめ」を設定



詳説世界史 スタンダードテスト

世探 704

B5判/152頁+解答32頁/2色刷/定価935円(10%税込)/ISBN978-4-634-03222-4

Point

知識問題を中心に教科書の内容を確認する標準的な難易度のテスト集
「知識・技能」を働かせて解くA問題と「思考力・判断力・表現力」を働かせるB問題で構成

60 世界恐慌とヴェルサイユ体制の崩壊

1 世界恐慌の発生

2 ヴェルサイユ体制の崩壊

3 世界恐慌の発生

4 ヴェルサイユ体制の崩壊

5 世界恐慌の発生

6 ヴェルサイユ体制の崩壊

7 世界恐慌の発生

8 ヴェルサイユ体制の崩壊

9 世界恐慌の発生

10 ヴェルサイユ体制の崩壊

11 世界恐慌の発生

12 ヴェルサイユ体制の崩壊

13 世界恐慌の発生

14 ヴェルサイユ体制の崩壊

15 世界恐慌の発生

16 ヴェルサイユ体制の崩壊

17 世界恐慌の発生

18 ヴェルサイユ体制の崩壊

19 世界恐慌の発生

20 ヴェルサイユ体制の崩壊

A問題、B問題それぞれの得点欄

1 A問題

2 B問題

3 A問題

4 B問題

5 A問題

6 B問題

7 A問題

8 B問題

9 A問題

10 B問題

11 A問題

12 B問題

13 A問題

14 B問題

15 A問題

16 B問題

17 A問題

18 B問題

19 A問題

20 B問題

時代スケールを追加し、「いつ、どこで」を常に意識できるように

1 時代スケール

2 時代スケール

3 時代スケール

4 時代スケール

5 時代スケール

6 時代スケール

7 時代スケール

8 時代スケール

9 時代スケール

10 時代スケール

11 時代スケール

12 時代スケール

13 時代スケール

14 時代スケール

15 時代スケール

16 時代スケール

17 時代スケール

18 時代スケール

19 時代スケール

20 時代スケール

A問題、B問題それぞれの得点欄
を設け、「思考力・判断力・表現力」を問うB問題は解答欄に*を
付しています

時代スケールを追加し、「いつ、
どこで」を常に意識できるよう
該当する時代を赤く表示

※この教材は、書店店頭での販売は行っていません



詳説世界史10分間テスト

世探 704

A5判/168頁+解答32頁/2色刷/定価770円(10%税込)/ISBN978-4-634-04131-8

Point

教科書の内容を81テーマに分け、各テーマ見開き2頁でまとめたテスト集
探究的学習の前提となる知識をコンパクトに整理

左ページの「10
分間テスト」で
約20個の基本的
な用語をおさ
えます

2 文明の成立と古代文明の特質(2)

1 メソポタミア下流域に、もっとも早く都市国家を形成した民族を何というか。

2 上記1を征服し、メソポタミア全土を統一した王を何というか。

3 上記1を征服し、メソポタミア全土を統一した王を何というか。

4 上記1を征服し、メソポタミア全土を統一した王を何というか。

5 アナトリアのボアズキョイを拠点として活動し、早く鉄器を使用したインド・ヨーロッパ系民族を何というか。

6 上記1の民族が創始した書体文字を何というか。

7 上記1の民族が創始した書体文字を何というか。

8 上記1の民族が創始した書体文字を何というか。

9 上記1の民族が創始した書体文字を何というか。

10 上記1の民族が創始した書体文字を何というか。

11 上記1の民族が創始した書体文字を何というか。

12 上記1の民族が創始した書体文字を何というか。

13 上記1の民族が創始した書体文字を何というか。

14 上記1の民族が創始した書体文字を何というか。

15 上記1の民族が創始した書体文字を何というか。

16 上記1の民族が創始した書体文字を何というか。

17 上記1の民族が創始した書体文字を何というか。

18 上記1の民族が創始した書体文字を何というか。

19 上記1の民族が創始した書体文字を何というか。

20 上記1の民族が創始した書体文字を何というか。

「advanced」では発展問題

advanced

1 オリエント社会に出現した、宗教の専横によって統治する強力な政治を何というか。

2 上記1を創始した王を何というか。

3 上記1を創始した王を何というか。

4 上記1を創始した王を何というか。

5 上記1を創始した王を何というか。

6 上記1を創始した王を何というか。

7 上記1を創始した王を何というか。

8 上記1を創始した王を何というか。

9 上記1を創始した王を何というか。

10 上記1を創始した王を何というか。

11 上記1を創始した王を何というか。

12 上記1を創始した王を何というか。

13 上記1を創始した王を何というか。

14 上記1を創始した王を何というか。

15 上記1を創始した王を何というか。

16 上記1を創始した王を何というか。

17 上記1を創始した王を何というか。

18 上記1を創始した王を何というか。

19 上記1を創始した王を何というか。

20 上記1を創始した王を何というか。

「advanced」では発展問題
や理解を深める問題を取り
上げ、さらなる知識の定着
をはかります

「exercise」では図や表、
地図を用いた問題に
取り組みます

exercise

1 次の地図中の①～④の都市の名前を、下の表から選べ。

2 次の地図中の①～④の都市の名前を、下の表から選べ。

3 次の地図中の①～④の都市の名前を、下の表から選べ。

4 次の地図中の①～④の都市の名前を、下の表から選べ。

5 次の地図中の①～④の都市の名前を、下の表から選べ。

6 次の地図中の①～④の都市の名前を、下の表から選べ。

7 次の地図中の①～④の都市の名前を、下の表から選べ。

8 次の地図中の①～④の都市の名前を、下の表から選べ。

9 次の地図中の①～④の都市の名前を、下の表から選べ。

10 次の地図中の①～④の都市の名前を、下の表から選べ。

※この教材は、書店店頭での販売は行っていません



書きこみ教科書 詳説世界史

世探 704

A5判/336頁/2色刷/定価1,100円(10%税込)/ISBN978-4-634-03221-7

Point

教科書の文章を読みすすめるながら、空欄に重要用語を書きこむ学習参考書
地図問題を充実させ、教科書中の歴史史料も適宜取り上げています

産業革命と環大西洋革命

産業革命

1 産業革命の発生

2 産業革命の発生

3 産業革命の発生

4 産業革命の発生

5 産業革命の発生

6 産業革命の発生

7 産業革命の発生

8 産業革命の発生

9 産業革命の発生

10 産業革命の発生

11 産業革命の発生

12 産業革命の発生

13 産業革命の発生

14 産業革命の発生

15 産業革命の発生

16 産業革命の発生

17 産業革命の発生

18 産業革命の発生

19 産業革命の発生

20 産業革命の発生

地図問題を充実させ、

1 地図問題

2 地図問題

3 地図問題

4 地図問題

5 地図問題

6 地図問題

7 地図問題

8 地図問題

9 地図問題

10 地図問題

11 地図問題

12 地図問題

13 地図問題

14 地図問題

15 地図問題

16 地図問題

17 地図問題

18 地図問題

19 地図問題

20 地図問題

2色刷で大きく掲載

解答欄は字数を下線
にして書きこみやすく
しています

地図問題を充実させ、
2色刷で大きく掲載

※この教材は、書店店頭での販売は行っていません

